

2018年5月22日  
ジェイサート株式会社

お客様各位

### WHOIS 公開情報を利用したメール認証が停止となります

ご既承の通り、2018/5/25(欧州時間)より欧州全域で施行される、「一般データ保護規則(GDPR)」により、ネット・リアルに関わらず欧州市民および居住者の個人情報  
は所定の手続きによる本人の同意なく公開・共有することができなくなります。 **その対象は、本社を欧州域外に置く世界中の企業・法人組織におよび**、同規則に違反した場合には全世界売上の4%あるいは2000万ユーロのいずれか大きい金額がペナルティとして課されます。

#### 【参考情報】

トレンドマイクロ株式会社公開情報

[https://www.trendmicro.com/ja\\_jp/business/capabilities/solutions-for/gdpr.html](https://www.trendmicro.com/ja_jp/business/capabilities/solutions-for/gdpr.html)

これにより、2018/5/25以降、欧州市民および居住者の個人情報(氏名、組織名、住所、郵便番号、電話番号、メールアドレス等)を公開している、あるいは今後公開する可能性のあるすべてのWHOIS サービス事業者が、SSL/TLS サーバ証明書発行時に利用してきたドメイン管理者等のメールアドレス含む上記個人情報(個人を特定し得る情報含む)の一切を非公開とする予定であることが判明しました。

このため、スターフィールド SSL を提供している Go Daddy 社より、2018/5/25(欧州時間)以降、

- ・本人の同意のない個人を特定し得る情報の利用・保存は一切行わないこと
- ・その結果として個人情報を閲覧不可とする措置を取っている・いないを問わず(JPRS WHOIS は当該規則外にありますが)WHOIS 情報を利用したメール認証は停止すること

を決定した、との連絡がございました。

したが、弊社を介してのドメイン認証処理においても、**日本時間 2018/5/25(金) AM700 以降**実施されるドメイン認証は、予てより代替策として実施してきた以下の3つの方策に限られることとなります。(ただし、それまでに実施済のWHOIS 公開情報を利用したメール認証結果は覆されることはありません)

1. WHOIS 公開情報に依存しないメールアドレスへの「認証メール」配信
2. DNS への固有 ID の TXT 登録認証
3. 固有 ID を表示した Web page(html) 認証

上記代替策の詳細につきましては、弊社までお問い合わせください。

以上